



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月1日
東

上場会社名 株式会社Cominix 上場取引所
コード番号 3173 URL <https://www.cominix.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)柳川 修一
(役職名)取締役常務執行役員
問合せ先責任者 (役職名)林 祐介 (TEL)06(7663)8208
管理本部長兼経営企画室長
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	21,525	△0.2	523	△27.3	599	△32.9	371	△38.0
2023年3月期第3四半期	21,568	8.4	720	44.4	893	54.6	599	△29.3

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 772百万円(△7.2%) 2023年3月期第3四半期 832百万円(△14.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第3四半期	円 銭 54.13	円 銭 —
2023年3月期第3四半期	87.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第3四半期	百万円 19,196	百万円 7,825	% 40.6
2023年3月期	18,553	7,295	39.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 7,801百万円 2023年3月期 7,274百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 13.00	円 銭 —	円 銭 20.00	円 銭 33.00
2024年3月期	—	15.00	—		
2024年3月期(予想)				20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	9.2	1,150	21.3	1,110	5.2	762	2.6	110.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期3Q	6,868,840株	2023年3月期	6,868,840株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年3月期3Q	335株	2023年3月期	335株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2024年3月期3Q	6,868,505株	2023年3月期3Q	6,868,505株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結損益計算書関係)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日～2023年12月31日）における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類への移行に伴う制限緩和などにより経済が正常化するなか、物価上昇や海外需要の生産・輸出への影響、金融資本市場の変動などから先行き不透明な状況となりました。世界経済は、中国経済の長期低迷に加え、ウクライナ情勢の長期化や資源・エネルギー価格の高騰などの物価上昇、インフレ抑制のための金融引締めなどにより景気の減速感が強まるなど不透明な事業環境は長期化していくことが予想されております。

当社はこのような不透明な環境の中で、「真の生産性向上に貢献する高度専門商社への変革」を中長期基本方針に掲げ、新中長期計画の2年目として、引き続き「持続的な成長」と「改革」を実現するための戦略としてEV業界の開拓などの新市場の開拓や、切削工具の専門商社から「ものづくりの専門商社」への変革を掲げ、お客様の生産性向上に資する活動を積極的に推進いたしました。しかしながら、足元の業績は、上半期に引き続き、主要進出国である中国における急速な経済の失速を背景として海外事業が伸び悩んだ他、切削工具事業、光製品事業においても売上高、及び利益が伸び悩みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は21,525百万円（前年同四半期比0.2%減）、営業利益は523百万円（前年同四半期比27.3%減）、経常利益は599百万円（前年同四半期比32.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は371百万円（前年同四半期比38.0%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

■ 切削工具事業

売上高は12,377百万円（前年同四半期比0.8%減）、セグメント利益は119百万円（前年同四半期比47.8%減）と減収減益となりました。

主な要因は、当連結会計年度より設立された機械販売部において、切削工具を強みとしながら工作機械等の機械設備を一気通貫で受注する体制構築に係る活動を積極的に推進したものの、切削工具分野の主要販売先である自動車業界における中国向け輸出を主体とする顧客への販売が低迷したことによります。

■ 耐摩工具事業

売上高は2,093百万円（前年同四半期比8.0%増）、セグメント利益は160百万円（前年同四半期比97.0%増）と増収増益となりました。

主な要因は、アルミ缶等の生産需要が堅調な製缶業界への販売が好調に推移したことに加え、EV関連の受注獲得や新規の外注加工先との取組みを積極的に展開したことによります。

■ 海外事業

売上高は5,414百万円（前年同四半期比0.4%増）、セグメント利益は178百万円（前年同四半期比48.9%減）と増収減益となりました。

主な要因は、為替相場の円安に加え、成長市場であるインドなど一部の進出国や、タングステン等の鉱物資源の販売が好調に推移したものの、当社の主要進出国である中国経済の長期下振れの影響を吸収するには至らなかったことによります。

■ 光製品事業

売上高は1,063百万円（前年同四半期比13.7%減）、セグメント利益は46百万円（前年同四半期比57.6%減）と減収減益となりました。

主な要因は、展示会の出展など営業活動を推進しましたが、主要顧客の中国向け需要減の影響を受け、主力のマシンビジョン関連ビジネスの売上が低迷したことによります。

■ eコマース事業

売上高は33百万円（前年同四半期比119.6%増）、セグメント損失は55百万円（前年同四半期は67百万円のセグメント損失）となりました。

主な要因は、取り扱い商品の拡充や、効果的なWEB広告の実施、顧客ニーズに合わせたサイト改修、販売店と連携した拡販施策等、業績拡大に向けての基盤づくりを積極的に展開しましたが、現時点では基盤づくりのための投資フェーズでもあることから、低調に推移したことによります。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて406百万円増加し、15,586百万円となりました。これは主に、現金及び預金が686百万円増加した一方で、棚卸資産が179百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて236百万円増加し、3,609百万円となりました。これは主に、投資その他の資産のその他が252百万円増加したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて642百万円増加し、19,196百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて250百万円増加し、8,763百万円となりました。これは主に、電子記録債務が301百万円、短期借入金が273百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が163百万円、1年内返済予定の長期借入金が119百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて138百万円減少し、2,606百万円となりました。これは主に、長期借入金が268百万円減少した一方で、固定負債のその他が92百万円増加したことなどによります。

この結果、負債は、前連結会計年度末に比べて111百万円増加し、11,370百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて530百万円増加し、7,825百万円となりました。これは、利益剰余金が131百万円（親会社株主に帰属する四半期純利益による増加371百万円、剰余金の配当による減少240百万円）、為替換算調整勘定が201百万円、その他有価証券評価差額金が193百万円それぞれ増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては2023年5月10日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,717	3,403
受取手形及び売掛金	5,217	4,998
電子記録債権	728	694
棚卸資産	6,073	5,894
その他	492	644
貸倒引当金	△49	△48
流動資産合計	15,180	15,586
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	277	267
土地	360	361
その他（純額）	315	355
有形固定資産合計	952	984
無形固定資産		
のれん	316	261
その他	138	147
無形固定資産合計	454	409
投資その他の資産		
その他	2,002	2,254
貸倒引当金	△36	△38
投資その他の資産合計	1,965	2,216
固定資産合計	3,373	3,609
資産合計	18,553	19,196

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,629	2,466
電子記録債務	1,733	2,034
短期借入金	2,326	2,600
1年内返済予定の長期借入金	1,004	884
1年内償還予定の社債	50	—
未払法人税等	59	127
賞与引当金	183	111
役員賞与引当金	35	32
その他	490	506
流動負債合計	8,512	8,763
固定負債		
長期借入金	1,833	1,564
役員退職慰労引当金	307	322
退職給付に係る負債	417	441
その他	186	278
固定負債合計	2,745	2,606
負債合計	11,258	11,370
純資産の部		
株主資本		
資本金	350	350
資本剰余金	330	330
利益剰余金	6,319	6,450
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,999	7,131
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75	269
為替換算調整勘定	199	401
その他の包括利益累計額合計	274	670
非支配株主持分	20	24
純資産合計	7,295	7,825
負債純資産合計	18,553	19,196

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	21,568	21,525
売上原価	16,884	16,805
売上総利益	4,684	4,719
販売費及び一般管理費	3,964	4,195
営業利益	720	523
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	17	18
為替差益	121	66
補助金収入	15	0
その他	67	48
営業外収益合計	225	136
営業外費用		
支払利息	27	42
その他	24	17
営業外費用合計	52	60
経常利益	893	599
特別利益		
保険解約返戻金	71	3
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	—	13
特別利益合計	71	19
特別損失		
減損損失	※ 28	※ 1
固定資産除却損	—	18
特別損失合計	28	20
税金等調整前四半期純利益	935	598
法人税、住民税及び事業税	275	223
法人税等調整額	66	0
法人税等合計	342	223
四半期純利益	592	375
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	599	371

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	592	375
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	193
為替換算調整勘定	255	203
その他の包括利益合計	239	397
四半期包括利益	832	772
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	836	767
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

※ 減損損失

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

場所	用途	種類	減損損失(百万円)
大阪府中央区	事業用資産	ソフトウェア	28
大阪府中央区	事業用資産	工具、器具及び備品	0
—	—	—	28

当社グループは、管理会計上の区分を基礎として資産のグルーピングを行っております。

当社の連結子会社であるさくさく株式会社において、当初予定していた収益を見込めなくなったため、上記の固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、回収可能価額は、使用価値により測定しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

場所	用途	種類	減損損失(百万円)
大阪府中央区	事業用資産	ソフトウェア	1

当社グループは、管理会計上の区分を基礎として資産のグルーピングを行っております。

当社の連結子会社であるさくさく株式会社において、投資額の将来の回収が見込めないため、上記の固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、回収可能価額は、使用価値により測定しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	切削工具 事業	耐摩工具 事業	海外 事業	光製品 事業	eコマース 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	12,483	1,937	5,393	1,232	15	21,063	505	21,568	—	21,568
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	12	12	0	4	55	68	124	△124	—
計	12,509	1,949	5,406	1,233	19	21,119	573	21,692	△124	21,568
セグメント利益 又は損失(△)	229	81	348	110	△67	702	△26	676	44	720

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額44百万円は、セグメント間取引消去△0百万円、社内上各セグメントに配賦した調整額44百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「eコマース事業」において、収益性の低下した資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。詳細は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結損益計算書関係)」をご参照ください。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額(注)3
	切削工具 事業	耐摩工具 事業	海外 事業	光製品 事業	eコマース 事業	計				
売上高										
外部顧客への売上高	12,377	2,093	5,414	1,063	33	20,983	542	21,525	—	21,525
セグメント間の内部 売上高又は振替高	25	13	8	—	8	56	94	151	△151	—
計	12,403	2,106	5,423	1,063	42	21,039	637	21,676	△151	21,525
セグメント利益 又は損失(△)	119	160	178	46	△55	449	15	465	58	523

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額58百万円は、セグメント間取引消去6百万円、社内上各セグメントに配賦した調整額51百万円が含まれております。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「eコマース事業」において、収益性の低下した資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。詳細は、「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結損益計算書関係)」をご参照ください。